

# 一般質問

## 今 利 一

(市民連合)

### 市民参加はどの時点です！

**問** 平成24年度の市政執行方針には、市長の市政信条は市民の声を聞き、市政に反映させる市民本意の開かれた市政運営である。社会が大きく変貌する中で、全てのニーズを行政のみで担うことは困難となり、「市民対話と情報開示」により情報共有する

中から市民と共に知恵を出し合い、市民と行政が役割分担し、支えあう自助・共助・公助による協働のまちづくりを担うのは「人」であり、まちづくりは「人」



地域懇談会 (麓郷集落センター)

づくりとしている。

こうした基本的な考え方から今回の「総合こども園」の建設計画は、市長の信条から逸脱している。容認できない。あおぞら保育所、麓郷小中統合については不満が残ったが地元の合意を得て進めた。何故総合こども園はそうした経緯をとれないのか。

**答** 市民対話をどの様に行うかはその状況によって異なる。

こども園については、富良野市第5次総合計画の中で、明確に皆様方に賛同を得た状況にある。また、選挙公約でもあることから、話し合いは十分行ったものと認識している。

**問** 協働のまちづくりを担うのは「人」である。まちづくりは人づくりと言っているが、今回行った地域懇談会により地域が分断され、若者離れを引き起こしてしまったのではないか。あらためて協働のまちづくりについて伺う。

**答** 協働のまちづくりは、部分的な所だけ見るのではなく、色々な角度から行わなければならない。総合的な判断の中で行うことと考える。

## 本 間 敏 行

(ふらの未来の会)

### 個人住宅リフォーム事業の継続

**問** 東日本大震災で日本経済も大打撃を受け、富良野市も、その影響は例外ではない。地域経済活性化と雇用の維持確保の促進、市民の住環境整備を目的とした、住宅リフォーム促進事業の継続について、どのように考えているか。

**答** 平成21年度より3年間、リーマンショック、公共事業の縮減等、建設業を中心とした経済不況が懸念され、市内建設業の経済活性化と雇用の維持確保を



ユニットバスリフォーム

促進する政策が求められ、民間需要による経済活性化を目的として単独事業の住宅リフォーム促進事業を実施した。この間、補正予算により、当初計画のほぼ倍の273件、補助総額5千520万円の助成事業を実施し、事業費総額6億5464万5千円の事業効果があり、当初の目的が図られたと判断して平成23年度で終了し、平成24年度以降の継続は考えていない。

### プレミアム付ふらの市内共通商品券の取り組みは

**問** 例年のように、富良野商工会議所からの「プレミアム付ふらの商品券」に対しての要望があれば、市の取り組みとして、どのように考えているのか。

**答** 地元消費の促進、地域内経済の活性化を目的に富良野商工会議所が発行しており、この商品券は市民にも浸透している。また、利用可能な個店も増加傾向で消費者アンケートによると地元で買い物をして貢献したいなど、地元消費への意識が高まっており今後関係団体の要請があれば情勢を判断し考えたい。